

【健康・福祉】
【発言】児童センターを小学校の中に開設してほしい。ここで地域の人がかかわれるものにと良い。
【回答】見守りセンターとしてその一角を恒常的に占有されるのは難しい。国の方針で、少人数学級が強化されれば学級数が増える可能性があり、空き教室がどれほどできるかはあまり望めない。絶対だめだという



大井町

皆さんからの
意見・提案の概要

話ではない。放課後について、専有でなければ検討したい。(教育次長)
。生活環境
【発言】長島町大崎の区画整理の概要について、大型店舗が出店すると聞いているが、排水対策はどうなっているのか。
【回答】将来の土地利用を見越して排水計画している。ただ、最近の雨の降り方は異常であり、時間雨量40ミに対して雨を力バーすることはできないが、現状よりはるかに良くなる。(建設部長)
【発言】中山道周辺の建造物、文化遺産の活用のため、景観保護条例はできているか。古い家の復元や文化を育て集客すべき。
【回答】景観条例は無いが、景観法に基づいた景観条例を作るのはいいとだ。条例は、行政と住民、事業者が協力しながら作るものであり、地域の盛り上がりの中で取り組んでいきたい。(建設部長)
【発言】防災訓練は自治会の小さいエリアですべきで、炊き出しなど具体的なことを育成事業に盛り込むべき。
【回答】防災は防災対策室、消防も併せてやっている。今年飯地で行った。来年度はやり方を見直して行うことを検討していく。(消防長)

【発言】防災行政無線が聞こえないところがある。
【回答】角度、音量を変えるなど努力しているが限界がある。今後、広報無線をデジタル放送に変え、またケーブルテレビで告知放送をする。平成18〜20年で全市に実施する。ケーブルテレビはテレビも見られ、インターネットもでき、それで市役所の情報も取りやすくなる。これで市全域の格差を無くす。(企画部調整監)
【発言】新消防庁舎に一般市民が利用できる200人程度の集会施設を建設してほしい。
【回答】防災機能、防災研修室、展示場、避難場所、備蓄倉庫を持ち駐車場も整備することとした。平成18年度設計、平成20年度完成予定。研修室も考えており、地元の皆さんが使うことは結構。(消防長)
【発言】高レベル核廃棄物を引き受けないことを明記してほしい。(岩村町に同意見)
【回答】現在策定中の環境基本計画の中で明言する。(市長)
。市民参画
【発言】地域計画で(仮称)地域ふれあいセンターの設置を挙げたが、市の実施計画には無い。どういう考えか。
【回答】中公民館に町民会議の拠点機能がある。ここを拠点と位置付ける。(地域振興部長)
教育委員会事務局を岩村に移す。中公民館が空くので拠点施設に利用していく。(市長)
【発言】大井町には公民館が無いが、中公民館を大井町の公民館機能が果たせるように充実させてほしい。
【回答】大井町の公民館としての位置付けは考えていない。地域協議会や触れ合いの拠点として活用してほしい。(市長)

長島町

【健康・福祉】
【発言】市立恵那病院について、いいお医者さんに来てもらいたい。
【回答】恵那病院の医師は、各市出身の地域医療振興協会の先生になり、変わってきている。地域医療振興協会の先生方と一緒に、若い先生の教育、院内での研修、協会の中での研修をする。また医師不足であり、全国的に不足している。いい先生の確保に努力する。(医療管理部長)
。生活環境
【発言】美しいまちづくりには、市民それぞれがごみを拾い、捨てないことを実行しないといけない。市民意

第2回地域懇談会

13地域で1450人の皆さんが参加



11月1日の上矢作町を皮切りに、約1カ月にわたり市内の13地域で「第2回地域懇談会」が開催され約1450人の皆さんが参加されました。

地域協議会では、4月に市長から諮問された地域計画について、地域ごとに議論をいただき、各地域の課題や目指すべき地域の将来像をまとめられ、10月に答申をいただきました。

総合計画の策定については、総合計画審議会を中心として、市民意識調査、公募による市民の皆さんと職員7人からなるワーキング会議を開催してきました。

ワーキング会議では、計画の基礎となる課題や解決策、計画を実施していく上での成果指標(目指す値)などを議論し、計画の素案として取りまとめました。総合計画審議会では、この素案について委員の皆さんからご意見を伺い、現時点での考え方を中間報告としてまとめました。

第2回となる懇談会は、地域協議会の主催で開催され、地域協議会からは、地域計画の概要を、また市から総合計画の素案の概要と地域の計画を説明し、市民の皆さんからご意見をいただきました。

ここではその主なご意見、ご提案を項目別に紹介します。詳しくは、市ホームページまたは情報公開コーナーでご覧いただけます。

□問い合わせ 政策調整課(内線331・332)
HP = <http://www.city.ena.gifu.jp/plan/>

識の向上が必要。地域リーダーの育成指導と市民意識向上のため標語募集を提案する。

【回答】長島町では環境美化を地域で進めてもらっている。市としてはこういう地域に不法投棄の監視員や看板の設置を進めている。看板を作る時「捨てるな」という看板ではなく、「きれいなところだ」という形で進めるというのが美化の基本になる。環境対策協議会に今の提案を伝える。

（環境部長）

【発言】河川、ダムの水質保全のため、下水道完備、利用率向上をしつかり進めてほしい。

【回答】下水道の完備により河川の水質は浄化される。家庭では下水道普及が進んでいる。工場は、製紙関係



3社で公害協議会を設置している。そのための設備投資をして、浄化施設を大きなお金で作った企業もある。永田川の浄化につながり、BODが下がることを期待している。ほかの企業も公害協議会で今後そういう動きが出るだろう。阿木川はBODが5であり河川の類型はC。これを総合計画ではBランクにする。

（環境部長）

。都市・交流基盤

【発言】旧恵那市は人口が増えなかった。地域分権が進むと、ほかの地域と競争になる。市外の人が恵那市に興味を持ってくれるようなPRが必要。交通インフラを整備し、名古屋から恵那市は近いというイメージをPRできるようにする。国内のホームステイなど恵那市を知ってもらい、ほかの町との交流のため、外へ向けたPRに力を入れるべき。

【回答】合併したメリットを最大限に生かしたまちづくりをしたいと考えている。旧6市町村それぞれ顔を持つている。岩村城址、寒天、大正村、温泉、モンゴル村、恵那峡、中山道、棚田など。これを生かし交流人口を増やすことが総合計画の一つのテーマだ。財政が厳しいので、ハードはカットしている。その中で、行政改革を進め、能率を上げ、ソフトの施策に力を注いで、人・地

域・自然が調和した交流都市をつくる。

（企画部調整監）

【発言】通学路の交通安全対策など子どもの安全を優先的施策の一つにしてほしい。

【回答】小学生、子どもの通学路の安全策は必要だ。PTAにも点検してもらっている。物理的に歩道設置が困難な場所があるが、何らかの対策を行う。住宅地では困難な場所があるが、曲がり角を安全にしたり白線で区切ったりすることを検討していく。多くの個所を毎年指摘されており、順次進める。

（建設部長）

。教育・文化

【発言】市民プール建設の計画はあるのか。

【回答】現在、3施設、山岡、明智、上矢作にある。夏に小学校プールの開放をしたが、6日間で200人弱利用、その内、大人は1人。ほとんど校下の児童が多かった。よってプール建設については先の見通しが暗い。

（教育次長）

。市民参画

【発言】適正な財政規模への歳出削減について、もっと前倒しでしつかりやるべき。

【回答】交付税措置で、合併した市町村については10年間は有利な支援措置がある。それがかなり大きい額だ。現時点での理論値では約23億

。産業振興

【発言】地域の山林が非常に荒廃している。間伐育成事業も、民間、個人の山には入っていけない。民有林の荒廃をどう考えるか。

【回答】岐阜県でも山の大切さを考え、岐阜県30年構想を県民の支援を得ながら山づくり、多面的機能高めようと、県民一体で取り組む姿勢。間伐には生産森林組合、財産区で計画的に造林保育をしているが、民有林は手入れがしていない。時間がかかるが、面積など把握しながら一体的に間伐、災害に強い山づくりの施策を考えたい。

（経済部長）

。教育・文化

【発言】図書館の蔵書数は10万冊で半分が閉架書庫の状態。25万冊が理想だと言われているのでそれに近づけてほしい。月刊誌も26冊だが、もっと増やしてほしい。

【回答】図書館には5万冊を予定していたが現在11万冊ある。6万冊は書庫の中なので各地区の公民館の図書室に配布し閲覧できるようにしたい。今後一般市民を入れた建設準備委員会を発足し計画したい。

（教育次長）

合併し各地域に図書室がある。それをネットワーク化する作業を始めている。各地域で必要な図書が手元に来ることが第一だ。その後、提言

のあった恵那市の図書館について、今5万冊しか出されていないが、しまつてある本をどうするか、どう情報提供するか検討し、市民との協働のまちづくりのなかで検討していく。

【発言】広々した生涯学習センターが欲しい。

（助役）

【回答】図書館の建設計画の中に生涯学習施設も考慮したい。（教育次長）

【発言】地歌舞伎の支援をお願いしたい。（飯地町、串原で同意見あり）

（市長）

。市民参画

【発言】市民参画を本格化するには行政の事業を市民が自分のものとして受け止めることが必要。明確な行政評価制度を作り、市民参画を促進すべき。

【回答】これからは行政評価をし、効果を繰り返し確認しながら新しいものに取り組まなければならない。財政が厳しい状況だが、いい評価ができるシステムを構築することを約束する。

（助役）

【発言】いろいろな組織の統廃合を考えて、基本計画を作らないと、自治会、市民への押し付け、役の多重化

三郷町

。健康・福祉

【発言】日本は出生率が1.2まで落ちた。子どもを2-3人産んだら税金を安くする、補助金を出すなどの施策に早く取り組み、具体的な数字を挙げてほしい。

【回答】子育て支援策について。乳幼児医療費助成は小学校在学中まで対象。不妊治療への助成も今後考える。経済的支援は国の動きもある。その情報を手に入れ市でできることは進めていく。そのほか、子育てへの相談や支援はいくつかあるので進めていく。とにかく結婚し子どもを生んでもらいたい。市では少子化に

円。10年後、元の交付率に下がる。それで、この10年間にメリットを生かし体力を付けて行財政改革をしつかりやり財政基盤を確立する。10年の総合計画に備える。

（総務部長）

東野

。生活環境

【発言】不法投棄は県道、国道のゴミが多いので行政として、県道、国道もひっくり返り取り組みをしてほしい。

【回答】きれいな美しいまちを進め、交流人口を増やしたい。当然、県道や県道もまちの中にあるのできれいにする運動を皆さんと進めたい。

（市長）

。都市・交流基盤

【発言】明知鉄道はバス並みに停留所ができるようにしないと、駅という感覚では利用客はつかめない。

【回答】バス停並みに作りたいと考えるが、できるかはこれから検討する。大井地区でも要望がある。バス並みに止まるには駅が必要。また駅を増やすとまた遅くなり、通勤できるかが課題。市民の足、観光の足としているんな角度から進めたい。

（市長）

対してその根本的計画を進めていく。

（市民福祉部長）

【発言】恵那地域で24時間365日いつでも幼児の治療が受けられる医療体制の確立を検討してほしい。

【回答】現状は、全国的に小児科医不足で恵那市でも市立恵那病院に1人、開業医1人。恵那病院に9人当直があり、その中で救急は回す。もしくは在宅当番医制で見てもらう。病院の輪番制をやっており中津川市民、坂下、上矢作、恵那病院4つでやっているが、基幹になるのは中津川市民病院。そこに小児科体制があるのでそこで対応する。

現在、厚生労働省は医師の新臨床研修医制度を始め、現場の医師が不足している。努力はするがすぐ小児



武並町



○健康・福祉

【発言】救急で病院へ行くと頻繁にあちこちに回される。救急医療体制を充実してほしい。

【回答】市立恵那病院ですべての疾病に対応することはできない。近隣の医療機関と連携を取って対応している。脳外科系の疾患は市立恵那病院では一切対応できないため、中津川市民病院が東濃厚生病院で行っている。今後も市民に不安を与えないよう病院と協議していく。

（医療管理部長）

○都市・交流基盤

【発言】国道418号の武並振興事務所の

る。（経済部長）

【発言】道の駅「らっせいみさと」にもっと多くの駐車場を整備すべき。熊本県の菊池の町おこしは人口7千人で年間百万人が来る。そういうところを視察してまちづくりを進めてほしい。

【回答】らっせいみさとのイベントでは駐車場が足りなくなる。今後のイベントの時には保育園前、消防団詰め所の前や個人の土地もあるので、必要かどうか市と精査し対応していきたい。（市議会議員）

【発言】林道整備などをして間伐を進めてほしい。その間伐材で公共施設を造ればよい。

【回答】岐阜県森林づくり30年構想により5力年の緊急間伐で45年以上の木の間伐を精力的に行う。（経済部長）

（経済部長）

○市民参画

【発言】市職員は民間に出向し、民間の手法を勉強する必要がある。縦割りだけでなく民間思考で市全体を見たい。

【回答】民間への研修をしていく時代だ。今は国、県の機関で職員の研修を行っている。民間企業の厳しさも含めて研修すべきだと感じている。今後検討していく。（総務部長）

（総務部長）

○都市・交流基盤

【発言】主要地方道多治見恵那線、国道418号の交通量が増えているが、歩道整備についてどうなっているか。

【回答】多治見恵那線の整備が早かったところ（佐々良木）は、当時歩道まで必要無いという考えだったので歩道がない。要望は恵那建設事務所にお願しているが、県の財政が厳しい中で現在新たに歩道整備している場所はない。佐々良木では用地のあるところは広げて歩道を確保すると聞いているが、全体の歩道となると、どれだけの人が通るのが一番の基準になる。通学路などの条件が優先になる。要望はするが優先順位がある。早く設置できるよう努力する。（建設部長）

○産業振興

【発言】定住化、都市からの流入人口を考え、生活を支え活力を生む工業の振興、ITを含む新産業の育成を進めるべき。恵那テクノパークを現在の隣接地に造ってはどうか。

【回答】中部経済産業局で、平成17、18年度に恵那地域の産業振興計画を作る。中小企業、新産業の育成、奨励措置、支援措置、企業誘致の奨励措置など総合的に市内の企業が元気になる施策を作る。また食産業など交流人口を増やすために興したい。その2本立てで産業振興計画を考え

科医が確保できるわけではない。

（医療管理部長）

○生活環境

【発言】野井の川を美しくする会は、ごみ拾いの活動を通して、庄内川流域ネットワークと交流を進めている。この先も交流を深めていくため、（仮称）庄内川最上流域ネットワークを組織するので、市、県の協賛をしてほしい。

【回答】恵那市には流域が3つある。水源の町だ。水源がやるべきことは森林を守ることだ。材木を活用しないため、恵南豪雨で被害を受けた。上下流のネットワークをきちんとやるべきで、豊田の繁栄の半分は恵那市が背負っている。庄内川も名古屋市が恩恵を受けている。下流域に上流を見てもらうことも重要だ。十分考えていきたい。行政もネットワークを支援していきたい。（市長）

庄内川の交流はありがたい。続けてほしい。建設事務所の参画も可能。ただ、河川美化、道路美化の協働の考え方の中で、さまざまな支援のソフト事業があるが、それは目的が限られており地域のボランティア活動の支援に対するもの。もっと広域の支援もしていきたい。地域づくりの事業もあるので、そういうソフトでの野井の取り組みは有効なので検討してほしい。（建設部長）

笠置町



○健康・福祉

【発言】毛呂窪小学校の跡地に若者と老人が一体化できる施設ができること、触れ合う場所ができてよいと考える。

【回答】福祉施設に限って言えば、地域住民が運営する宅老・託児両機能を持った施設なら、既存の施設の改修として、400万円ほどの財源が付く制度もある。新しいものを作るとなると、民間介護保険の事業者を誘致すればよいが、公共では難しい。今ある施設を利用し、5～10年使用する見通しを立ててやればよい。福祉以外ではいろいろな制度がある。地

かお金が来ていないという状況であるが、全力を挙げてやってもらう。徹底的にお願いする。県議会議員、議長も働きかけている。（市長）

○産業振興

【発言】弘法様から望郷の森までの林道が荒廃しているので舗装してほしい。

【回答】公共の林道整備の舗装は、厳しくなっている。県の単独の舗装になると聞いている。距離も長く相当時間がかかると思うが平成18年度採択となるよう要望している。今後も強く要望していく。地元では間伐を初めとした施業も付いてくるし、地元負担もあるので協議をお願いしたい。（経済部長）

【発言】笠置町にも農産物などの直売所を設けることを考えている。そのため加工施設、保存施設の設置を計画に入れてほしい。

【回答】計画では、加工施設、流通加工の改善施策が入っている。その段階で具体的な道路の整備ができ集落でのきちんとした推進ができ、いつ誰がお金をどうするということが決まったら計画に反映したい。全体的には計画が上がっている。（経済部長）

○教育・文化

【発言】小中学校の生徒が少なくなっているが、児童生徒数の学校間の平均化についてどう考えているか。

（飯地町に同意見）

【回答】少子化に伴う学区の見直しはこの地区だけでなく、恵南にもそういう学校がある。小規模校を適正規模の学校に整えるには、検討委員会を市内で作り、学区の見直しをしながら進めたい。今後検討委員会を検討する。（教育次長）

○市民参画

【発言】ハードばかりでなく、市民協働、ソフト面をできるだけ施策に取り入れることが重要。ソフト面を育てるには、人づくり、伝統技術・知恵の継承、地域の支援が大事と思う。

中野方町

○健康・福祉

【発言】建設予定の中野方コミュニティセンターの中につどいの広場を作ってほしい。

【回答】つどいの広場事業は0歳から3歳までの親子が公共施設の空き部屋や空き店舗を使い、週に2、3回集まり一定の事業を行う活動への助成であり建物の建設ではない。中野方でも見通しを立てていく必要がある相談に乗る。（市民福祉部長）
伝統文化のスペースも取ってほしいと言われているので、建設委員会

で検討する。（教育次長）

【発言】ふるさと福祉村「まめに暮らしまい会」は県の活性化事業で、3年で助成金がなくなる。高齢化社会で大事な事業なので、それ以降振興基金をもらい会を続けていきたい。

【回答】県の3年間の制度の後は、例えばまちづくり市民協会からの助成などを検討してはどうかと思う。組織そのものを継続させる財源はなく、厳しい中であるが、今後も相談は受けていく。（市民福祉部長）
地域振興基金で、中野方支部の活動については、今後検討し、その中で活動内容を織り込んでいただきたい。（地域振興部長）

○都市・交流基盤

【発言】主要地方道恵那白川線道路で検討する。（教育次長）
【発言】ふるさと福祉村「まめに暮らしまい会」は県の活性化事業で、3年で助成金がなくなる。高齢化社会で大事な事業なので、それ以降振興基金をもらい会を続けていきたい。



いできないか話を進めている。2人暮らしで要介護にならないように過ごしてもらう機会ができるよう考えていきたい。（市民福祉部長）

○生活環境

【発言】立ち上がり（地上式）の消火栓はできないか。

【回答】旧恵那市では、消火栓は以前地上式を設置していた。個人用地にあつたものは、個人から撤去してほしいということがたびたびあり、地下式に置き換えている。地上式は、1〜2カ月で開け閉めの点検をしないとさびつく。しかし地下式では器具が要る。20年経って、更新するのが悩んでいる。課題とする。（消防長）

○都市・交流基盤

【発言】国道418号改良の促進を真剣に働きかけてほしい。

【回答】国道418号は飯地から上矢作まで長い距離がある。県は恵那八百津線の重複するところを早くしてもらおうということも話している。今後皆さんの力添えで要望していく。（市長）

【発言】市道裏洞線から川端地域内に接続するように道路延長工事を市道改修の中で最優先してほしい。

【回答】市道は総合計画の中で改良計画を上げている。振興事務所を通じて飯地の皆さんの要望を整理して

は、土地買収が数年前に済んでいるが、いつ工事できるのか。

【回答】用地買収が9割、峠まで進んでいるが地図上の混乱、相続、広大地で分筆できていないため登記が進んでいない。また県の財政が厳しく、峠¹が遅れてきている。現在測量を含め登記を少しでも進めている。地権者を特定し、測量をして工事に入るよう要望している。何年とは言えない。（建設部長）

【発言】ケーブルテレビ事業の完成時期はいつか。

【回答】ケーブルテレビは合併協議により調整されており、平成18年度に着手し、平成20年度完成を目指す。（企画部長）

○産業振興

【発言】望郷の森について、笠置山は非常に良い場所なのでこれからまちづくりの大きな目玉になると考えている。登山シーズンまでに管理棟に代わる避難小屋を作してほしい。

【回答】管理棟は県が撤去し、その後避難小屋を新たに設置する。県も間伐材を利用した事業で2分の1、2分の1は恵那市負担となる。80平方メートル程度の避難施設を作ることが決まった。（経済部長）

【発言】グリーンピア恵那跡地を山菜採りの公園や人工シメジ栽培などで観光地にする構想があるが、実現で

る。裏洞線が最優先かどうかは相談しながら検討する。（建設部長）

【発言】工業団地、スケート場のアクセスのため武並地内に中央自動車道インターが必要。

【回答】インターチェンジを新たに作ると、開発者負担で、多額の事業費がかかり困難だ。スマートインターとして、サービスエリアを利用するものが検討されている。（建設部長）

○産業振興

【発言】森林組合の経営基盤を強化して、間伐の受託作業が活発にできる体制を整備してほしい。

【回答】中心になるのは森林組合だ。恵那と恵南と2つあり合併もゆくゆくされると思うが、作業班を充実させ、きちんと作業ができる仕組み作りを行政でも応援していく。立派な従事者を作ること大事だ。全市的にそういう方向で進める。（経済部長）

○市民参画

【発言】振興事務所の機能を一般行政と公民館、健康指導、地域づくりなど、全体的なサポートができるようにしてほしい。

【発言】市役所全体でサービスの質を向上できるような管理システムの導入により、職員の良い考えや意欲がわく職場環境を創出してほしい。

飯地町

○健康・福祉

し活動するとよい。市道は「道路愛護みんなの道」で、地域の方がまとまり活動、ごみ拾いをしてくれる団体にわずかだが助成している。



○健康・福祉

【発言】いきいきサロンについて、昼間2人である高齢者世帯も多い。2人世帯も対象に加えてほしい。

【回答】この地域では高齢者世帯が多く建物に離れている。いきいきサロンは一定基準で行っているが、そうでない形での利用も考えていきたい。介護予防の事業を飯地の「宅老所まんさく」などに何かの形でお願い

岩村町



健康・福祉

【発言】合併前に計画された矢坪の特別養護老人ホームの計画はどうなったのか。

【回答】特養の建設は、旧岩村町時代に計画があり、それが合併協議で新市に引き継がれている。事業主体は民間だが、当初予定していた社会福祉法人の設立について一部変更があったが、新社会福祉法人を設立し、当初の岩村町の人も参画し、現在県のヒアリングを受けている。進んでいけば平成18、19年にかけて建設される。（市民福祉部長）

産業振興

【発言】子育て支援策として有効なのは女性の職場復帰である。企業に対して優遇措置などを入れてほしい。

【回答】女性の職場復帰は厳しい状況だ。ハローワークと協働し、男女共同参画からも少子化の重要性を理解しPRすることを新計画でも位置付ける。（経済部長）

少子化と女性の職場復帰対策は、平成18年度に男女共同参画プランを策定する。その中で検討し研修会、講習会、PRなどを検討し位置付けていく。（企画部長）

市民参画

【発言】町民運動会、敬老会などいろいろな事業が予算不足でなくなると聞くので不安だ。

【回答】敬老事業を中止することはないが、全市同じ形態で続けていく。今後、各地域の中で、皆さんの考えでその地域に合ったやり方やってほしい。財政支援もささやかだがやる。（市民福祉部長）

町民運動会は市からの補助で自治連合会、体育協会の協力を得て行った。今後も補助により実施する方向で検討している。（岩村振興事務所長）

【発言】岩村町には協定を結んでいる市町村がたくさんあり、その対応のため市全体で交流協会を作ってほしい。

い。

【回答】行政、スポーツでも多くの人が交流できる場ができた。全市的に大きな輪でということだが、岩村町が培ってきた経緯もあるので、地域の宝として大切にしていただき、都市との地域間交流を地域の宝として地域の人達を中心となつて協働のまちづくりを進めてほしい。（企画部長）

合併前の旧市町村では、交流のあった自治体と全く無かった自治体がある。その辺の調整をしていきたい。例えば伊豆市では交流協会を作っている。このように実働的に交流するセクションを交流協会で作ってもらえと一番いい。新市としてもゆかりの里など旧市町村での交流は引き継いでいる。（市長）

【発言】市職員が少なくなるのは理解できるが、振興事務所は地域の核になる存在であり、職員の大幅な削減はサービス低下、まちづくりの相談・協力面でマイナスになる。

【回答】振興事務所の役割は、地域振興と、住民窓口事務だ。削減計画全体の中で、振興事務所の役割を損なわないよう、職員は削減するが、全体的にバランスの取れた配置計画をしていきたい。（総務部長）

山岡町

健康・福祉

【発言】人工透析の人が山岡に14、15人いるので送り迎えするか、早い時期に透析できる設備をしてほしい。

【回答】人工透析は平成20年度ぐらいまでに市内に設置したい。患者さんのニーズ、専門家の意見を参考に進める。透析後のつらいことも承知している。通院手段も計画に入れて考える。（医療管理部長）

人工透析について。市内に1カ所民間の医者があるだけで、ニーズが多いので大きな設備を作りたい。市の中心地に持っていきたい。早く作りたい。（市長）

産業振興

【発言】市道、県道の横に枯れ松が多くあり危険なので何とかしてほしい。

【回答】松枯れは、緊急性を見ながら順次処理する。情報をいただきながら森林組合と一緒に対処する。（経済部長）

教育・文化

【発言】スポーツ活動の振興で、総合型地域スポーツクラブについて聞きたい。

【回答】学校のクラブ活動が縮小されている。そのため、スポーツクラブ

【発言】あいさつ運動と道徳教育を協働で行うことが必要と思うがどうか。

【回答】道徳教育は、現在、重要な課題として続けているが、今後も各地域の方の支援を得ているんな特色を持って進める可能性は高い。大きな課題として進める。地域連携は重要な方向だ。全体的にも、各地域の特色としても展開する。（教育次長）

市民参画

【発言】ボランティア・NPO活動の促進と、シルバー人材センターの支援は相反していると思う。どうボランティアを促進するのか。定年延長、再雇用は民間で、企業努力でやるのがいいと思う。

【回答】シルバー人材センターの支援を総合計画に挙げている。公的事業はここをお願いしたい。シルバー人材センターは雇用ではなく請負。ここで雇用関係は結ばない。高齢者の余暇を活用し社会に貢献する。そこで一定の報酬をもらう。ボランティアと対立はしないと考え。残りの余暇でボランティアに参画してもらう。（市民福祉部長）

健康・福祉

【発言】旧恵那市には学童保育があるが明智にはまだない。学校の施設を利用させてもらえないか。

【回答】学童で学校を使うこと。放課



明智町

を中学校区単位の規模でつくり週1回、土日などに活動する。その活動団体の育成をしており2年間は補助がある。恵那市は県から社会教育主事を招き地域スポーツの拠点を作り充実を図る。上矢作、明智で立ち上げられており、旧恵那市では大井町が今年立ち上げ来年から軌道に乗る。（教育次長）

後の子どもの居場所は大きな問題だと認識するが、教室を学童に貸すことは、もう少しゆるやかに検討する。今後、より少人数に学級を分けたりすると一つの教室を学童に貸し、次年度に戻すことがあると、急に出てもらうことになる可能性がある。明智は恵那市でも最も多人数で40人近い。これを改善し学級数を校長が弾力的に決める可能性がある。やらないということではなく、前向きに検討する。（教育次長）

生活環境

【発言】国道363号について、吹越から明智の町に入るところまで、大型バスがすれ違えない。子どもの歩く歩道も不十分なので、整備が必要。

【回答】県の事業なので市としては要望していく。国道363号はその部分の整備が早かったため、2車線ではあるが幅員が狭く、線形も悪い。周辺に民家があり具体的対策が難しい。歩道の整備要望もあり、実現できるような市として要望する。現在、駅前の歩道を整備している。危険なのは分かるが整備のための青写真がまだないので時間がかかると思われる。（建設部長）

【発言】ごみ袋の値段が旧恵那市と恵那で格差があるが、調整はどうなっているか。

【回答】合併協議により現行のまま新

市に引き継いでおり、現在、廃棄物減量審議会に諮問し、収集運搬と費用負担について検討している。平成18年4月までに恵那の収集運搬を一元化し、平成19年4月までに可燃物、不燃物の袋の料金だけでなく、全体の中で統一していく。（環境部長）

ごみ袋については、合併協議で何度も話したが統一できなかった。可燃ごみだけでなく、不燃ごみの処理方法は、恵那は60円の袋で、旧恵那市はコンテナ式で市民が分別して出し無料となっている。全体を見て平成19年に統一するため、審議会に諮問し議論している。（市長）

教育・文化

【発言】総合型地域スポーツクラブについて、来年大人に加入してもらつためには魅力が必要。受益者負担は当然だが、そういう形に慣れていないためしばらく支援してほしい。施設利用料、照明代の減免をお願いしたい。

【回答】予算は現状でお願いしたい。今年県から社会教育主事をスポーツ課に3年間派遣してもらっている。主事を利用していく。使用料は免除、照明代は50%減免する。地域型スポーツは通常枠からはずしてやる。全市でできるまでそうする。（教育次長）

串原



健康・福祉

【発言】串原市独自の少子化対策を考えてほしい。合併前の串原では定住奨励金、結婚、出産奨励金があった。施策に取り入れてはどうか。

【回答】平成16年度に作った次世代育成支援行動計画の事業を実施していく。新市での新たな事業として、乳幼児医療費助成を小学校6年まで対象。今後、不妊治療費の助成、幼保一元化の取り組みも検討していく。出産、結婚、定住の奨励金は今の行政では消極的だが、有効であり皆さんが合意するなら検討課題となる。

（市民福祉部長）

【発言】串原には65歳を過ぎた老人夫婦世帯が86世帯あり、うち31世帯が独居だ。救急車が着くのに20―30分かかる状態なので、保健師など予防施策を充実してほしい。

【回答】平成18年から第3期に入る介護保険制度が、予防重視となり大きく変わる。いくつかの日常生活圏域に分け、住み慣れたところで生活できる体制を計画している。実現は、地域の協力体制がないとできない。来年度中枢機関として地域包括支援センター、施設、在宅、高齢者だけではない体制を作る。現在、市に1万5千人の高齢者がおり2千人が要介護認定。750人が要介護準備軍。この人をリストアップして、希望により介護予防、疾病予防の相談、指導事業をする。串原でもそのときには協力してほしい。（市民福祉部長）

生活環境

【発言】結婚し、親と同居したい人は少ないので市営住宅を旧町村ごとに作れないか。

【回答】串原では持ち家率が高く市営住宅は4戸。旧串原村は中堅低所得者への住宅供給を進めてきた。しかしながら空き家が3戸残っている。募集しても入居者がいない。その中で先行して市営住宅を作るとは難しく現在計画はない。それが定住につながるか不明確だ。住民のニーズ

を把握する中で検討したい。

（建設部長）

【発言】市道の凍結と除雪について、今までは消防団や村の委託の人が雪かきをしてくれたが合併後は業者が行っている。業者はお金次第でそれなりの仕事だ。予算が減ればどうなるか。予算を減らさないでほしい。

【回答】市道の路線が2千本、延長が1千^{キロ}以上ある。その中で、物理的、財政的にすべての市道を完璧に管理できない。除雪もすべては難しい。主要幹線のみになる。それ以外は地域住民に行ってもらっている。各地域で道路の維持管理の業務もしており委託もしている。串原では委託で1人をお願いしている。除雪、凍結で問題になるのは、早朝にやってくれる人がいるかどうかだ。除雪業務は、業者にボランティアのような思いでやってもらっている。串原には残念ながらそういう事業をやる建設業者がいない。明智や上矢作から来てもらっている。基本的に今の予算で減らすことは考えていないが増やすことも難しい。今委託している人がやってもらえる間はお願したい。業者との併用で行う。地域の皆さんにも協力してもらいたい。

（建設部長）

産業振興

【発言】魅力ある職場がないため、串

原に残りたくても職場が少なく都会に就職するのが現状。企業誘致できないか。恵那市と豊田市が交流して誘致したり、恵那市民の就職先を紹介してもらったりできないか。

【回答】テクノパークなどに魅力ある産業分野がある。平成17、18年度に中部経済産業局で産業振興計画を作っている。市内各層の委員、大学の先生で、魅力ある企業も含め、市内の地場産業、中小企業が元気になる施策を行政としても作りたいので検討している。また交流人口の増加を図る計画を作る。魅力ある、働きたいのある、また若い人の職業観も変わっている。恵那市全体の産業の振興を図るアクションプランも作っている。

（経済部長）

【発言】森林保全について、市有林の管理はどのような体制か。森林には多様な役割があるので、間伐を積極的に行うべきだ。

【回答】戦後の造林が伐期を迎えているが切っておらず長期伐期施策を行っている。合併し8割が山林であり、放置されている。すると恵南豪雨のように危険な状態である。不在地主、放置林の現況把握のソフト事業を国に要請している。県にも所有者、面積把握をお願いをしている。岐阜県全体では30年構想の中で45年生以上の大木の緊急間伐を実施して

上矢作町



生活環境

【発言】上矢作地域協議会から答申した地域計画の中の水道や合併浄化槽の普及について、上矢作町は80^{パーセント}だが、下水道も実施中で、達原地区は水道が無いのでそういうことを地域計画に載せてほしい。

産業振興

【発言】自然環境林の保全が今回の上矢作地区の主要事業から削除されている。この地域は広大な山林で生活してきており、植林率は70^{パーセント}で国産林もある。またわずかな自然林は歴史の検証に耐えうる。後世に残していくという意味で自然環境林の保全

を載せてほしい。

【回答】自然環境林の文言は削除したのではなく、「豊かな自然と調和した安全なまち」の中で「豊かな自然環境の保全と活用」、森林や里山の保全と活用の中で包括的にしている。

（経済部参事）

市民参画

【発言】市の行政を行う人を大事にしないといけない。優秀な人も順次採用しないといけない。簡単に人を減らせばいいわけではない。財政は大変でも毎年10数人は大卒の優秀な専門職を採用し市を活性化してほしい。

全体

【発言】総合計画策定にあたって、地域協議会の意見を直接聞く場はあるのか。

【回答】話し合いの場として、12月から1月に政策調整課と各地域協議会の委員との場を計画している。

（企画部長）

【発言】全国にない魅力ある恵那市、過疎地に人が残る恵那市を作ってほしい。

【発言】この総合計画が絵に描いた餅にならないように実行してほしい。

【回答】この計画は事業費を概算で算定し積み上げ、財源計画を作った。絵に描いたもちということのないようにする。ただし、国の三位一体改

「地域計画答申書」の 取り扱いについて

地域計画の策定は、4月に市長からそれぞれの地域協議会に諮問しました。各地域では、半年間のうちに数十日にわたり議論をいただいたり、独自のアンケート調査、懇談会を開催されるなど大変な努力の結果まとめられ、答申いただきました。

しかしながら答申いただいた地域計画は限られた財源の中ですべてを盛り込むことはできませんでした。そこで今後地域の皆さんと行政が計画の実現に向けて努力していくための礎として活用するため、「地域計画の推進について（指針）」としてまとめ、総合計画の見直しに併せて協議しながら施策に反映することとします。